

「子どもが主役」をどう実現する？

	子ども発の支援	事例
①	子どものか細い声を聞く	子どもの悩み電話相談
②	子どもに発言させてみる	子ども議会で意見表明。町内会で子どもにも発言させる
③	自分で判断させ選択させる	生徒が先生の授業評価。生徒が通信簿で自己申告書。学校へ行くか、行かぬかは子どもが決める。子どもにもガン告知。終末医療—子ども本人の意思尊重
④	子どもの選択の受け皿を用意	中退者受け入れ校。ホームスクール 子ども向けホスピス
⑤	子どもにやらせてみる	町内会便りや回覧板づくりを子どもが。生徒がカウンセラー役。生徒が生徒のいじめ相談 危険箇所点検は子どもの手で。子どもに護身教育
⑥	子どもを主催者に	子ども会活動は子どもの手で（上級生が）。おさらい教室を上級生が主導。子どもの自助グループづくり
⑦	子どもに責任を取らせる	交通安全子どもの会づくり。町内美化に子どもも参加。校則は子どもが作る。いじめの問題解決は生徒の手で。
⑧	子どももサービスの対象に	子ども喫茶店。子ども向けコンサート。